

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ子育て支援教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員が多く、かわわりを通して社会性や安心感、自立に向けた支援ができる。	職員間での情報共有を定期的に行い、かわわり方や支援方法について共通認識をもてるようにしている。また、都度支援方法をかえて個々に合わせた支援ができるよう取り組んでいる。	地域の発達支援センターなどの繋がりをもち、さまざまな角度から利用者の成長を見守る仕組み作りをしていけるよう検討したい。
2	カリキュラムの充実性	いろいろな経験ができるよう、日によって違うカリキュラムを取り入れたり、季節に合ったカリキュラムを考案している。また、会社全体でのカリキュラム委員会に所属し、様々なカリキュラムをと入れるよう取組みをしている。	個々のレベルに合わせたカリキュラムを考え、内容を充実させていく。
3	保護者サポート	保護者様の子育て相談や、相談しやすいように定期的な面談を行なっている。 また、オムツ準備などは保護者負担がないよう、こちらで完全預かりをして対応し負担軽減につなげている。	オムツの定額サービスを検討したり、相談日を設けて保護者様支援の充実を図っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境構成	施設の老朽化	移転も検討されているが、それまでは少しずつ改修をしていく。子供たちが安全で過ごしやすい環境を作っていくようにしている。園庭がないため、散歩や外遊びで公園に行くなど、カリキュラムに取り入れて運動ができるように工夫している。
2	地域交流が少ない	積極的な地域との関わりを持つ意識が薄いことが要因	イベント等のお知らせを地域へ配付したり、地域の方を巻き込むイベントを開催できる取組みができるよう検討していく。
3			